

石川県 健民運動



かわら版

1月号

《25. 1. 31第201号》

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～

発行：石川県健民運動推進本部
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民交流課内
TEL 076-225-1366

インターネット **健民運動** 検索

twitter @kenmin_undou

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

鼓動 「ふるさと百万石街道」歩いて深める交流の絆！
石川県歩こう会連絡協議会 副会長 小坂 進

特集 第15回子どもドリームフェスティバル
健康体力づくり活動の推進
オリエンテーリング・インストラクター養成講習会

環境・文化活動の推進
ふるさと文化再発見「今江大獅子舞の復活と伝承」
紹介「ツバメのお宿シール・H25年度版」応募作品

青少年健全育成活動の推進
健民運動青少年ボランティア賞・表彰式
内閣府・地域連携推進事業中央研修

健民運動紹介・奨励コーナー
2・3月の健民運動カレンダー

「あいむ」だより

薫風 犀川河川敷の恵みに感謝 犀川河川愛護会 副会長 安藤 登



鼓 動

石川県歩こう会連絡協議会 副会長 小坂 進

「ふるさと百万石街道」歩いて深める交流の絆！

平成25年の新しい年を迎えました。明けましておめでとうございます。

石川県歩こう会連絡協議会は、平成8年4月に設立した伝統ある団体です。県内の各地域ごとに活動していた歩こう会の団体を、県全体の組織として活性化させようとの気運が高まり、54の団体が結集して設立されました。以来、歩くことを通じて会員の健康づくりに取り組むとともに会員相互の交流の輪を広げ、絆を深めてきました。

平成18年4月には、石川県歩こう会連絡協議会の設立10周年と石川県中央歩こう会の設立42周年を記念して「石川の大地を県民の足と汗でつなぐ」《加賀・能登縦断ウォーク》事業、「ふるさと百万石街道」を実施しました。

この事業は、3箇月間をかけて、南北に細長い本県を金沢に向かって南北の端から歩くもので、珠洲市の禄剛崎灯台から出発する「能登外浦コース」と「能登内浦コース」、加賀市の塩屋海岸から出発する「塩屋海岸コース」の3コースを設定しました。内浦・外浦コースの合流コースでは谷本知事さんにも参加していただきました。海と山、自然と文化、そして、人情に触れながら、1区間約4kmを100区間合計で427.1kmを、延べ5千人を超える県民が「絆」を深め合いながら、金沢城に向かっていしかわの大地を歩き通しました。この《加賀・能登縦断ウォーク》を記念して、津幡町の石川県森林公園、加賀市の県民の森、輪島健康の森の3箇所に桜の木を植樹しました。

また、平成15年からは、「県外ツデーウォーク」を実施しています。県下のウォークマンが年に一度、一堂に会して県外を歩くもので、第1回は長野県白馬村、第2回は軽井沢町、第3回は福井県三方町、第4回は長野県奈良井宿を歩きました。平成19年の第5回は、能登半島地震の震災復興を願い、100人で伊勢神宮を参拝しました。この行事は愛知県の地元紙でも大きく扱われ、谷本知事夫人から、感謝と労いの言葉をいただき、思い出深い行事となりました。第6回は天の橋立、第7回は長野県小谷村、第8回は妙高高原、第9回は蓼科高原、第10回は戸隠。そして、第11回の今年も、滋賀県の比叡山と彦根市を歩く計画です。

これからも、県民一人一人が健康で医療のお世話にならないよう、歩くことの大切さを広く普及し、今まで以上に地域に貢献できるよう努めていきたいと考えています。



H18年 知事も参加の縦断ウォーク



記念植樹



H24 ツデーウォーク戸隠

特集 第15回



子どもドリームフェスティバル 開催

県内 **112件の応募** の中から選ばれた **5団体** が発表

1月20日（日）、県立音楽堂邦楽ホールにおいて、第15回子どもドリームフェスティバルが開催されました。会場には保護者の皆さんや関係者など500人を超える皆さんが、夢を実現させた子どもたちの一生懸命の発表を応援しようとお集まりいただきました。

県と健民運動推進本部が主催する本行事には、今年度112件の応募がありました。その中から採択された5団体の子どもたちは、今年の夏から専門家の指導を受けたり、保護者や先生方の支援を受けながら夢を実現させ、憧れの音楽堂邦楽ホールのステージでの最終仕上げともいべき発表に臨みました。

当日は早朝から力が入ったリハーサルを行い、発表に磨きをかけました。リハーサルを終えた5団体の子どもたちは午後からの発表を前に、本部長の谷本知事との記念撮影を行い、励ましの言葉をいただきました。フェスティバルは午後1時30分、大勢の観客が見守る中、竹中副知事のご挨拶で開会されました。



谷本本部長が出演の子どもたちを激励



竹中副知事挨拶

2階ホワイエのパネル展示



メロン幼稚園年長組 本格的な舞台で日舞を発表したい

メロン幼稚園の年長さんたちは、昨年から専任の指導者のもと日本舞踊を練習しており、麒麟組男児は「きつねのお祭り」、女兒は「天神様と梅の花」。ライオン組男児は「雲」、女兒は「かぐや姫」を発表しました。園児たちは、昨年11月23日には、金沢市の尾山神社の本殿で踊りを披露したほか、12月には園のお遊戯会でも、かわいい演技を披露しています。



きつねのお祭り・天神様と梅の花〔麒麟組〕

雲・かぐや姫〔ライオン組〕



七尾市立石崎小学校 2年生

ビー玉などを転がすからくり装置を作りたい

①東地区の発表 イルミネーションが美しい



テレビ番組からヒントを得て、ビー玉を転がすからくり装置をみんなで作る夢を実現させようと、石崎小学校の2年生全員が地区ごとの4つの班に分かれて、夏休み中から制作に取り組みました。保護者はもちろん、地域の皆さんを巻き込んだ労作ができあがり、昨年11月には、小学校の「石小の集い」でお披露目をしました。今回の舞台でも、細部をビデオをで見せるなど、演出を工夫して素晴らしい発表を見せてくれました。

②西三区の発表



③西二区のからくり装置



④西一区のからくり装置



ドリームパワーdeジュニア☆リズムダンスチーム

大きなステージでリズムダンスを踊ってたくさんの人に見てもらいたい



メンバーはみんな踊るのが大好き。褒められるのも大好き！怒られるのは大嫌い！な元気いっぱい皆さんです。夢は、大きな舞台上で踊ること。今年は10月に産業展示館3号館で開催された「子育てメッセいわか2012」でも発表し、今回もはじける笑顔で踊ってくれました。発表曲は「ステキな日曜日」「G e e」「ミッキーパラパラ」「ちっぽけな勇気」の4曲。インタビューでも大舞台上で踊った自信が溢れていました。





子どもミュージカル劇団こんぺいとう☆ 手作りのミュージカルを発表したい

「こんぺいとう」は、子どもドリームフェスティバルへの応募をきっかけに発足した劇団です。今回のミュージカルは、夢を持ってチャレンジする8人の子どもたちが、時には挫折を経験しながら、励ましあって、夢の実現に近づいていくストーリー。エレクトーンや手話を交えての発表は、子どもたちの成長を感じさせ、感動に満ちたものとなりました。



白山市立石川小学校5年生

学校の池を生き物がすめるビオトープにしたい

生き物が多く棲息する「ビオトープ」を作る夢を持った5年生が、専門家や地域の人々からの支援を受けながら、力を合わせて完成させ、「生き物タウン」と命名しました。発表は、昨年ゼロから計画をスタートさせ、完成までの半年間の軌跡を、劇仕立てで見せてくれました。終了後の大野校長先生を囲んでの記念撮影は石川小学校の団結力の強さを感じさせるものでした。学校での完成披露は、去る1月17日に行われ、生き物たちが訪れる春を待つことになります。



健康体力づくり活動の推進

北陸地区 **オリエンテーリング・インストラクター 養成講習会** 開催



講義①「オリエンテーリングの特性」



ビデオによる講義②「熱中症対策」



講義③「地図についての知識」など



講義②「模擬AED実習」



指導実習「初心者指導の留意点」



指導実習「ストレッチング」

石川県オリエンテーリング協会の「北陸地区オリエンテーリング・インストラクター養成講習会」が12月8日(土)、9日(日)の二日間の日程で、金沢市キゴ山ふれあいの里研修館で開催されました。今回の講習会は競技人口の拡大のため、初心者などに対する適切な指導力を有するインストラクターの養成を目的としたもので、金沢大学オリエンテーリングクラブの学生、男女各3名と名古屋大学オリエンテーリングクラブOBの計7名が受講しました。県協会の森田輝雄副会長を始めオリエンテーリング・ディレクターやインストラクター資格を有する5名が講師を務めました。

初日は13時から、オリエンテーリングの歴史や安全配慮などのオリエンテーリングの特性やトレーニング方法、指導のための基礎理論について講義が行われました。二日目は、雪化粧した研修館周辺で、初心者向けのポイントオリエンテーリングのコース設定などを15時30分までみっちり学びました。受講した皆さんからは、「指導のポイントが学習できた。」「役に立った。」などの感想が寄せられ、充実した講習会となりました。
(資料提供はインストラクターの小林力さんでした。)

県ゲートボール協会 平成24年度 表彰伝達式 開催

12月2日(日)午前10時より、いしかわ総合スポーツセンターにおいて、県ゲートボール協会の表彰伝達式・納会が開催されました。石坂修一会長の挨拶に続いて、次の4名の方々が平成24年度(公財)日本ゲートボール連合表彰を受賞され、村本恒夫理事長から表彰状が伝達されました。また、石川県ゲートボール協会会長賞には近藤親臣さん始め6名、県ゲートボール協会審判員褒賞には太田智さん始め13名の方々が表彰されました。

日本ゲートボール功労者表彰	日下登喜雄
健康功労者表彰	柘植 淑子 山崎 光夫
審判員功労者表彰	盛 寛



石坂会長の挨拶

環境・文化活動の推進

ふるさと文化再発見！ 今江大獅子舞の復活と伝承 獅子舞奉納

12月23日(日)、小松市今江町の今江春日神社において、健民運動推進本部が「ふるさと文化再発見事業」で助成した「今江町内会」の「今江獅子舞保存会」による「獅子頭の奉納」と「獅子舞の試行披露」が行われました。午前11時に、今江獅子舞保存会の川端徳治代表や地井章町内会長をはじめとして総勢約30名が神社拝殿に集合し、新たに補修された獅子頭の奉納式を行い、玉串を捧げて地域の伝統行事の正式な復活を喜び合いました。

今回奉納された獅子頭は、昭和42年に富山県井波で制作され、毎年4月の祭礼で地区内のすべての家々を巡って舞われていたもので、永年の使用により耳や鼻、舌などが損傷したり、頭髪が抜け落ちたりと傷みが目立っていました。4月の正式復活を前に、白山市鶴来地区の職人に依頼して修復したもので、井波風の鼻の大きな獅子頭が見事に修復されました。また、獅子舞自体は青年団活動等の沈滞により、27年前から途絶えており、この間、祭礼では獅子頭を台車に乗せて巡る形式で実施されましたが、2年前から復活の気運が高まり、今年度は健民運動推進本部の助成もあり、獅子頭の修復や笛などを新たに整えての正式復活に漕ぎ着けることができました。試行では、角貴弘さんら青年団の若手8人が伝統の太鼓や、岡山竜士さんの笛に合わせて豪快でダイナミックな獅子舞を披露しました。さらに4月の祭礼までには揃いの法被が整えられて披露される予定で着々と準備が進められています。



獅子舞が行われた今江春日神社



獅子頭が納められる境内の祠



修復された獅子頭を前に



獅子頭の奉納式



大獅子舞



法被のデザイン



笛と太鼓に合わせて、ダイナミックな獅子舞が披露されました。

「ツバメのお宿シール」 H25年度版 応募作品等の紹介



11月13日から12月20日までの約一月半にわたって、県庁19階展望ロビーで、「ふるさとのツバメ総調査パネル展」を開催し、次年度のツバメ総調査用「ツバメのお宿シール」入賞作品と応募作品を展示しました。子どもたちが工夫して描いた作品をご紹介します。

最優秀賞



小坂小6年 西村亮平

H25年度
お宿シール
お宿主様



優秀賞



中島小5年 亀田早彩

※ 学年はH23年度の学年

佳作



小坂小6年 田中愛奈



みさき小6年 野村彩衣



金津小6年 宮谷 翠



蕪城小6年 二木愛実



ツバメ博士



鵜川小5年 岩谷惇也



松波小6年 樋下 光



富陽小6年 米田みつき



イワツバメ

韓国版 ツバメのお宿シール ふるさとのツバメ総調査パネル展で 展示

昨年8月、韓国慶尚南道教育庁の教諭らが、日本で唯一、41年間にわたって全県でのツバメ調査を実施している石川県を調査研究のため訪れました。この縁で、韓国のポンゴク小学校6年生が描いた韓国版の「ツバメのお宿シール」の原画が健民運動推進本部に届けられました。本部では早速日本語訳を付けて、折から県庁19階展望ロビーで開催していた「ふるさとのツバメ総調査パネル展」に合わせて展示しました。



① 6年1組 ハ ユジョン
巣を作るため、泥をくわえて飛行する場面



② 6年3組 チョン インヘ
餌をくわえて、力強く飛んでいる様子



③ 6年3組 パク スピン
巣の材料をくわえ、巣にむかって飛んでいる様子



④ 6年3組 イ ナヨン
ヒナに与えようとして、餌を探している様子



⑦ 6年3組 キム テギョ
文字で、巣があることを知らせ、「静かにしてほしい」と赤い字で書いたもの



⑥ 6年3組 カン ハンギョル
子どものことを考えながら、一生懸命飛んでいる親鳥

青少年健全育成活動の推進

平成24年度 健民運動青少年ボランティア賞表彰式



受賞された皆さんと竹中博康副知事との記念撮影

1月17日県庁1109会議室

「防災とボランティアの日」の1月17日、今年度の健民運動青少年ボランティア賞表彰式が、県庁11階1109会議室において開催されました。この表彰は阪神淡路大震災を機に、他の模範となる優れたボランティア活動等を実践した団体又は個人に、本部長の谷本正憲県知事から贈られるもので、今年で18回目を迎えました。今年度の受賞は11団体1個人。本部長は公務のため出席できませんでしたが、竹中博康副知事が出席され、授与と受賞者との懇談をされました。

竹中副知事が 表彰状と記念の楯を授与



副知事の激励の言葉

竹中副知事は授賞後の挨拶で、青少年ボランティアの重要性は、既に揺るぎないものとなっており、更なる活躍を期待したいこと。また、ボランティア活動が社会貢献に止まらず、自らの人間性をも成長させるものであるとして、今後、自信を持って継続してほしいと激励の言葉を述べ、受賞者の取組を讃えられました。

受賞された皆さんと和やかに 懇談



受賞者と懇談する竹中副知事

表彰式終了後、受賞者と副知事との懇談が行われました。懇談には副知事のほか、副本部長の西口寿一県民文化局長、正木明選考委員長、宮口優選考委員、高文連JRC部の木谷辰夫選考委員、同じくインターアクトクラブの八十田至選考委員が参加されました。

各団体及び個人の受賞者との 懇談 概要

加賀市立山中小学校交通少年団 6年小林昌典さん 中出愛里さん 島浦岩夫校長先生



昭和51年交通安全見守り隊として結成され、伝統的活動として引き継いでいます。交通量の多い交差点や横断歩道で、地域の方や下級生に挨拶しながら安全な横断を見守っています。雨の日はつらいけど、元気に挨拶してくれ、やりがいがあります。しっかりした活動を下級生に引き継ぎたいです。

副知事：雨の日などは気をつけてやってください。子どもだけしているの？

児童：見守り隊の人と一緒にします。

副知事：6年生が全員とするの？

児童：はい、36人が、一週間交替でします。

金沢市立新野町小学校6年地下道掃除 6年北村翔平さん 野田胡桃さん 上野邦明校長先生



6年生15名が先輩から引き継ぎ、約40年間続けています。3人一組で班を作り、朝8時から15分間毎日交代で学校近くの隣町交差点の地下道を掃除しています。雨や雪の日は大変ですが、通る人と交わす挨拶でとても元気になり、頑張ろうという気持ちが湧いてきます。

副知事：高校生は挨拶する？しない人がいたら、あなた方から何回もしてください。

児童：大きな声で挨拶してくれます。

副知事：地下道がきれいになれば気持ちがいいですから、これからも頑張って続けてください。

金沢市立米丸小学校児童会運営委員会・環境委員会 6年嶋田和佳名さん 橋本直哉さん 小原晴樹校長先生



運営委員会は、米丸小学校で笑顔の輪を広げる挨拶運動に取り組んでいます。そして、全校の皆さんと挨拶日本一を目指します。環境委員会では、エコキャップとブルタブを集める活動をしています。多くのエコキャップやブルタブを集め、世界の人を助ける活動をしたいです。

副知事：これから歴史を作っていく活動です。5年生以下にもしっかり引き継いでください。先生方もきちっと挨拶していますか。

児童：はい、やっています。

副知事：これからも、頑張ってやってください。

珠洲市立若山小学校 6年中智希さん 6年田端大裕さん 中田勇一校長先生



活動の一つ目は、地域の伝統行事への参加です。5月庭祭り、6月経虫送り、8月盆踊りの夕べ、10月は文化祭です。二つ目は、デイサービス「やまびこ」との交流です。車椅子を贈るためブルタブ集めを行い、これまでに3台贈りました。三つ目は、一人暮らしのお年寄りとの交流をしています。

児童：皆さんが集まっているところへ行って、お話しや歌を歌ったりしています。

副知事：お年寄りは喜んでくれますか。

児童：はい、とても喜んでくれます。

副知事：続けることが大切です。これからも皆で参加してください。

県立加賀高等学校生徒会執行部 3年藤原佳奈子さん 3年大岡夕莉さん 稲葉幹雄教頭先生



小学生と一緒にペチュニアの苗を植え、植えたプランターを近隣の小学校や保育園、地区会館などの公共施設に配布しています。地域から大変感謝され、本校のボランティア活動の原点となっています。小学生の指導は、自分の成長を実感でき、地元の方々とも交流する機会となり、とてもよかったですと思います。

副知事：ペチュニアはどのように配布しますか。

生徒：5月に植え、6月ごろに配布し、その後の世話もします。

副知事：掃除などは、校長先生も手伝ってくれますか。

生徒：はい、手伝ってくれます。

県立小松工業高等学校吹奏楽部 3年小林将也さん 合場孝之先生



楽器を演奏しながら行進や踊るマーチングバンドで、地域会場で演奏しています。今年は50回ほど実施しました。大勢の子どもやお年寄りの方に喜んでいただき、とてもやりがいを感じています。これからも訪問演奏を積極的に行い、地域に愛されるバンドになれるよう練習し、勉強も頑張りたいです。

副知事：部員の構成は？

生徒：3年が抜けて男子女子半々で24人構成です。

副知事：ユニフォームや選曲はどうしていますか。

生徒：ユニフォームは引き継ぎ、皆さんが知っている曲を選んで演奏します。



県立寺井高等学校吹奏楽部 2年中村瑛美さん 3年西田麻美さん 桶川亮一先生



一生懸命、楽しく練習に励んでいます。県のコンクールや年一回の定期演奏会、地域行事にも積極的に参加しています。保育園や小学校、老人介護施設などへ行き、演奏活動をしています。子どもたちには楽器に触れる体験で音楽に親しんでもらい、お年寄りには懐かしい曲で楽しんでもらっています。

副知事：寺井高校の吹奏楽部は歴史があり、女子が多いですね。
生徒：創部35年です。3年生が抜け、男子は10人ほどです。
副知事：学校の生徒や先生方にも、聞いてもらっていますか。
生徒：入学者の歓迎演奏などで聞いてもらい、新入部員募集をしています。

県立金沢辰巳丘高等学校生徒会 3年平井あゆ美さん 2年酒井佑莉さん 森中洋先生



部活やクラスごとに年に2・3回、地域清掃をしています。近隣の方や豊かな自然とも接し、より一層学校が好きになります。また、校庭のリンゴの木で、年に1回県立ろう学校の生徒と一緒に収穫する活動を続けています。活動をとおして、協力することの大切さや喜びを感じることができます。

副知事：生徒会は女性が多いでしょう。
生徒：20人ほどで、近年女性が多くなっています。
副知事：生徒会活動は、校長先生も手伝ってくれますか。
生徒：積極的にアドバイスをいただき、とても助けられています。

県立宝達高等学校 2年金谷京香さん 村中幸子校長先生



H13年の吹奏楽部の地域訪問演奏が始まりです。全校生徒の宝達山清掃登山、YOSAKOIソーラン同好会の地域施設への慰問演舞、ボランティア部のデイサービス補助、まちなかフラワーロード整備活動。そして、今年は慰問茶会や小学校での学習ボランティアなどを行っています。

副知事：いろいろなことをしていますね。ボランティア部は何人ほどいるの？
生徒：3年生が抜けて、9人で頑張っています。
副知事：皆さんの活動で、宝達高校の宝達葛のスイーツを使ってください。
生徒：スイーツは茶道部の活動で使っています。

県立門前高等学校生徒会 2年室谷奈津美さん 加藤浩子先生



全校生徒164人で、学校の畑でソバを作り、そばを作って老人ホームなどの施設に配っています。そのほか、一人暮らしのお年寄りに年賀状を出す活動や総持寺までの参道清掃をしています。今年は植林ボランティアにも参加しました。

副知事：年賀状は、何枚ぐらいですか。返事は来ますか。
生徒：生徒一人5枚ずつ、「長生きしてください。」などのメッセージを添えて、学校から出しています。毎年30通ほどの返事が来ます。
副知事：過疎も進んでいますが、負けないで皆さん一緒に頑張ってくださいね。

鵬学園高等学校インターアクトクラブ 3年梅木祐子さん 2年島崎香璃さん 池岡幸枝先生



昭和49年創設、国際理解と奉仕を目標に、他校との交流や募金活動、施設訪問など多方面で活動しています。特に東日本大震災の募金活動や福祉施設での日曜喫茶ボランティアが強く印象に残っています。私も役立つのだ、人に喜んでもらえるのだと嬉しくなり、自信が芽生えました。

・副知事：インターアクトクラブはたくさんあるの？
・生徒：石川県では5校ぐらいにあり、交流しています。
・副知事：活動を家族と話しますか。また、施設での反応はどうですか。
・生徒：よく親と話します。施設の方も大変喜んでくれています。

個人の部 幸楼会 中西 己琴 さん



幸楼会&一座は、家族中心の現代大衆舞踊のボランティア一座です。県全域の老人福祉施設を中心に、歌や踊りを披露し、施設利用者の方々とのコミュニケーション活動などで交流を深めています。仕事の傍ら、年24回ほど活動し、18年間の活動で、かけがえのない体験や出会いをし、大切なものをたくさん学んできました。

副知事：一度、和装での公演を見たいのですが、中西さんの夢は何ですか。
中西さん：コミュニケーションやチームワークを大切にして、明るい社会と人々の幸福に貢献するエンターテイナーを目指したいと思います。
副知事：ご家族の方と一緒に、これからも頑張ってください。

内閣府主催

子ども・若者育成支援のための 地域連携推進事業中央研修

に参加しました。



内閣府大臣政務官が表彰状授与

健民運動推進本部では、11月29日（木）、30日（金）の2日間に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合研修センターで開催された「子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業中央研修会」に参加しました。第一日目の研修に先立って、内閣府の「社会貢献青少年表彰式」が実施され、11団体と3個人に金子恵美内閣府大臣政務官から、表彰状と記念品が授与されました。13時15分からの研修では、静岡県立大学国際関係学部の津富宏教授が「地域の力：支え合う関係をつくる」と題して、基調講演を行いました。津富教授は、青少年の社会参加を支援する、青少年就労支援ネットワーク静岡に参加しており、ニートやひきこもり、非行歴のある若者の社会参加の支援には、地域の力や家族、企業の力を取り戻す必要があるとして、秋田県と静岡県の取組を紹介されました。その後、津富教授がコーディネーターとなって、パネルディスカッションが実施され、大阪府立布施北高校の「普通科高校でのデュアルシステム」の取組と横浜市の「中高生のボランティア体験」の取組が紹介されました。

第二日目は、同会場で分科会が開催され、NPO法人「ピアサポートしぶや」の「地域ネットワークをつくる」取組の紹介や、筑波大学人文社会学系の土井隆義教授による、「現代のいじめ分析」などの研修が実施されました。

研修会の日程終了後、同会場で第2回青少年育成都道府県民会議連絡協議会総会が開催され、当本部は傍聴者として参加しました。総会では、会の名称を「全国青少年育成都道府県民会議等連合会」と変更することなど、3件の議案が審議されました。



11月29日全体シンポジウム



分科会で熱心に研修する参加者



青少年育成都道府県民会議連絡協議会総会

青少年ボランティアセンター 広めよう！ふれあいの輪 発刊

次世代を担う心身ともにたくましい青少年の育成をねらいとして実施している、「健民運動青少年ボランティア賞」受賞者の活動と、地域のボランティアグループの一覧「いしかわの青少年ボランティア名簿」を併載した冊子、「広めよう！ふれあいの輪」を作成しました。1月17日の青少年ボランティア賞表彰式で配付したほか、県内すべての小・中・高校と特別支援学校、大学等に送付しました。高齢化や大規模災害など、多くの場面で青少年によるボランティア活動への期待がますます高まっています。是非ご活用ください。



健民運動紹介・奨励コーナー

健民運動推進本部 “初の試み”

いつでも健民運動 in 県庁 開催



狭いスペースながら熱心に制作



干支カードとポチ袋



スタッフによるお手伝い

健民運動推進本部では、12月17日(月)～21日(金)までの5日間、初の試みとして県庁で「いつでも健民運動 in 県庁」を開催しました。会場は県庁行政庁舎19階喫茶横のスペースで、展望ロビーを訪れた一般の皆さんや県庁職員に簡単なクラフト体験に参加していただきました。小規模な活動でしたが、県民一人ひとりが自ら取り組む住民運動で、「美しい郷土づくりと、県民一人ひとりが豊かさを実感できる暮らしの実現」を目指す健民運動への理解を深めることができました。

時節がら、体験活動はお正月やクリスマスに使用する「ポチ袋」や「プレゼントハウス」を、使用済み封筒などをリサイクルして制作していただきました。連日多くの皆さんに体験していただき、参加者アンケートでは、「子どもと一緒に楽しめた」や「今後の健民運動に参加してみたい」などのご意見が寄せられました。また、体験時間やスペースが限られていたこともあり、推進本部では今回の試みをベースとして、今後の活動の可能性を探り、工夫改善して取組を充実させたいと考えています。



プレゼントハウス

2・3月の健民運動カレンダー

H25.1.25現在

2/ 3(日) 能登地区子ども会指導者研修会
会場：七尾サンライフプラザ（七尾市）
主催：石川県子ども会連合会



サツキ (Rhododendron indicum)

2/ 5(火) 千里浜健康クラブ体力づくり出前講座
会場：千里浜公民館（羽咋市）
主催：健民運動推進本部



ロウバイ (Chimonanthus praecox)

2/16(土) スポーツ少年団指導者研修会
会場：いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）
主催：石川県スポーツ少年団

3/ 2(土) スポーツ少年団ジュニアリーダースクール
3(日) 会場：国立能登青少年交流の家（羽咋市）
主催：石川県スポーツ少年団



桜 (Prunus subg. Cerasus)

3/ 8(金) 平成24年度健康・体力づくり指導者講習会
会場：いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）
主催：石川県 石川県健民運動推進本部

「あいむ」だより



* 収集物（1月分）*

＜使用済み切手など＞

医療対策課、厚生政策課、庶務課福利厚生室、東京事務所、
監査委員事務局、計量検定所、犀川河川愛護会の計7件。

ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

お知らせ

大喜利形式で楽しく学べるNPO地域相談会

半日丸かじりNPOセミナー&相談会in能登・加賀 開催のお知らせ

司会から出されるNPOに関する簡単な課題や問題に対して、会計・税務・登記・労務・運営の専門家が、それぞれの立場から分かりやすく解説します。

◎ 各地とも参加料無料、定員20名程度

能登地区

日 時：平成25年2月9日(土) 13:00～16:00

場 所：七尾市サンライフプラザ 七尾市本府中町ヲ部38番地

加賀地区

日 時：平成25年2月10日(日) 10:00～13:00

場 所：こまつまちづくり交流センター 小松市小寺町乙80

《参加のお問い合わせ・お申し込み》

(特) いしかわ市民活動ネットワークセンター(い-ねっと)

TEL: 076-232-6673 E-mail: ishikawa@inetnpo.com



いしかわNPO塾 2月の開催予定 ★ 毎月第2・4水曜日19時～21時

2月13日(水) NPOの税・年末調整と確定申告どうします？

2月27日(水) 賛助会員はこうすれば増える！

場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」会議室

参加費：無料

《NPO塾のお問い合わせ・お申し込み》

(特) いしかわ市民活動ネットワークセンター(い-ねっと)

TEL 076-232-6673 E-mail: ishikawa@inetnpo.com

URL: <http://inetnpo.com/npojuku/>



石川県NPO活動支援センター(あいむ)

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL: 076-223-9558 FAX: 076-223-9559 <http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！(会議室使用料 無料)

お問い合わせ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター(あいむ)」までお気軽にどうぞ。香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。

薫風

犀川河川愛護会 副会長 安藤 登

犀川河川敷の恵みに感謝

自宅から犀川のサイクリング自転車道に約100mで出られる好条件に恵まれていることや家族のすすめもあって、河川敷でのランニングを始めました。走り始めて5～6年が過ぎた頃、それまでは気にすることもなく走っていた走路周辺のゴミが気になってきました。



若宮大橋付近での清掃作業 H15年4月28日

丁度その頃、同様の気持ちで走っていた事務局長の中村稔氏と知り合い、河川敷を利用させていただいている感謝を込めて「清掃ランニング」を始めました。また、利用者のためには、河川敷へ下りるスロープや柵、舗装等、何かと改善すべき課題が多くあることに気付きました。

このため、河川敷を管理する県央土木総合事務所へ、中村さんとお願いに行くことにしました。お願いに行き感じたことは、二人の声だけでは何事も無理だということでした。そこで、二人の思いを、河川敷を利用されている方々に伝えて、参加者を募り、12名が集まりましたので平成13年6月にこの会を立ち上げました。会員数は2～3年で、100名以上に増えました。その頃には毎年5項目程の利用者に喜ばれる改善・改修をしていただけるようになってきました。その後、12年間で多くの要望が実現でき、美しい犀川になってきたと感じています。



犀川ふれ愛パークの花壇 H23年6月18日

犀川河川愛護会では、毎年定期的に、中には毎日の方もおいでますが、ゴミ回収作業と河川敷の5箇所では花壇のお世話をして整備に努めています。清潔で美しい環境と、美しい花々が利用者の目の和みになればと思い頑張っています。

毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～

平成24年度 健康・体力づくり指導者講習会 〔健康生きがいきづくり講座〕

主催 石川県 石川県健民運動推進本部

日時 平成25年3月8日(金) 13:00～

会場 いしかわ総合スポーツセンター サブアリーナ

対象 市町健康クラブ 老人クラブ等のリーダー及び指導者
市町健康・体力づくり担当職員 等

定員 100名(定員になり次第締め切ります。)

内容 13:00～ 開講式

13:05～13:15 ウォーミングアップ

13:15～13:45 講義と実習

13:45～14:00 休憩

14:00～15:00 講義と実習

15:00～15:15 参加証交付

講師 健康向上企画代表 鈴木 孝一 氏



テーマ
適応性を利用した効率の良い身体の動かし方

お話を聞きながら実際に身体を動かしましょう。

参加料 無 料
締 切 2月22日

参加申込 (FAX可)

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県県民交流課内健民運動推進本部

TEL 076-225-1365
FAX 076-225-1363



Web QR